



## 花火大会の経済効果 (IRSME15006)

平成 27 年 6 月 25 日 加藤 丈侍

夏のイベントといえば花火大会は外せない。老若男女問わず楽しめる夏の風物詩である花火大会。その驚くべき集客力と、経済効果について検証してみると、容易に中止や延期を実行できない経済事情がみえてきた。

### ■ 花火大会の運営と収支

大規模な花火大会を開催するには、花火にかかる費用のほか、会場の設営や安全対策などにも相当なコストがかかる。一つの例を見てみよう。

日本三大花火大会の一つである「長岡まつり」（新潟県長岡市）の 2012 年の収支報告によると、花火玉の購入を含む『花火行事費』として 1 億 8,006 万円、『会場設営費』として 1 億 1,719 万円、警備や案内にかかる『安全対策費』として 7,197 万円もの支出が計上されている。その他の費用を合わせると、総額で 4 億円を上回る。

平成 24 年度 長岡まつり収支報告書			
収入		支出	
寄付金	2 億 1,545 万円	花火行事費	1 億 8,006 万円
観覧席料	1 億 5,908 万円	会場設営費	1 億 1,719 万円
補助金	2,870 万円	安全対策費	7,197 万円
諸収入	1,010 万円	広報宣伝・事務経費	2,494 万円
前年度繰越金	315 万円	前夜祭・昼行事費	1,937 万円
		次年度繰越金	295 万円

※1. 長岡まつり 主催/長岡市、長岡まつり協議会 打ち上げ数/20,000 発 人出/90 万人（2012 年）

こういった支出をまかなう収入の一部が『寄付金』だ。「長岡まつり」に限らず大きな花火大会では、一つ一つのプログラムの前に、そのプログラムへの協賛企業を紹介する放送が入る。協賛するのは、誰もが知っている大企業から地元の中小企業まで様々だ。この寄付金が 2 億 1,545 万円と最も大きな収入となっている。

つぎに大きな収入源となっているのが有料指定席だ。2012 年の「長岡まつり」の大花火大会では、8 月 2 日、3 日の有料指定席を約 2 万 8,962 席販売したが、席数の 4.2 倍となる 12 万 1,145 席分もの申込みが殺到したという。その気になればもっと売れるのだろうが、有料指

平成 27 年 6 月 25 日

(IRSME15006) 花火大会の経済効果

定席を多くしすぎると、誰でも参加できる「お祭り」としての魅力が減少してしまう。席数や価格設定には「経営手腕」が問われそうだ。

収支報告によると、観覧席料の収入は 1 億 5,908 万円。席料は 2,000 円～15,000 円まであり、単純に収入で割ると一人当たり 5,500 円程度支払っている計算になる。花火大会を運営するための欠かせない収入源であることがわかる。その他、市や商工会議所からの補助金が 2,870 万円、駐車場代等の諸収入が 1,010 万円となっている。

協議会は自治体に関わる非営利組織であるため、黒字の 295 万円は翌年の運営のために繰り越される。

## ■ 花火大会のまちおこし効果

収支はおおよそ「トントン」と見ることができ、花火製造業者や警備会社等、直接まつりに関わる企業はもちろん、出店、地域の商店、宿泊施設等の売上も見込める。

先述の「長岡まつり」における 2012 年度の人出は約 90 万人であったとされる。長岡市内の宿泊施設に宿泊できる人数は 1 万人で計算すると、消費支出はおおよそ以下のとおりになる。

	平均値 (円)	対象来場者 (人)	消費支出 (千円)
宿泊費	11,000	10,000	110,000
飲食費	2,133	900,000	1,919,700
土産・買い物費	500	900,000	450,000
入場・観覧料	250	900,000	225,000
交通費	1,769	376,864	666,672
合計			3,371,372

※2. 宿泊費は長岡市内に泊まる人たちのみで計算。

飲食費、土産・買い物費、入場・観覧料は全来場者を対象として計算。平均値は新潟県産業労働部観光振興課を参照。

費目ごとの単価と対象来場者をかけて計算すると、33 億 7,137 万円が長岡市内で消費されているということになる。ホクギン経済研究所の調べによると、新潟県に与える経済波及効果は 49 億円にも達するとのことだ。

平成 27 年 6 月 25 日

(IRSME15006) 花火大会の経済効果

---

## ■ まとめ

花火大会は、ひとつの出し物で多くの人を同時に楽しませることができるイベントである。その集客力は絶大で、エンターテインメントを提供してくれるだけでなく、観光や商業といった面から見ても地域への波及効果も大きい。長岡市の人口は 27 万人余り。普段は静かな街が「長岡まつり」になるとわずか 2 日間で人口の 3 倍以上の人を全国から集めている。4 億円の予算で 33 億円の経済効果が生まれるこの一大イベントは、投資効果が極めて高いものであると判断できる。

日本全国では年間約 500 回の花火大会が開催され、最近では外国人観光客をも取り込んでいる。花火大会という圧倒的な集客力を生かして、宿泊率の向上、周辺市町村との広域観光を積極的に推進して花火大会前後にも留まってもらう工夫がすすめば、パブリシティ効果だけではなく、地域経済の活性化とともに花火以外の魅力を全国に知ってもらうことができるのではないかと思う。(了)